

藤沢記者クラブ各位

**手話×AI「SureTalk (シュアトーク)」の実証に協力します！**  
～手話と音声による双方向コミュニケーションシステムの試行～

藤沢市では手話通訳者の派遣や手話講習会の実施など、手話を使いやすい環境づくりに努めています。今回その一環として、ソフトバンク株式会社が開発した「手話と音声でAIがリアルタイムでテキストに変換し、画面を通して会話ができるサービス『SureTalk (シュアトーク)』の実証に協力することとなりましたのでご案内します。神奈川県内自治体では初の実施となります。

**【実証事業の内容】**

- 実施場所 藤沢市役所障がい者支援課窓口（藤沢市朝日町1番地の1）ほか
- 実施期間 2025年(令和7年)1月21日～9月30日(開庁日)
- 実施内容

- ・担当者が窓口端末から来庁者(手話ユーザー)に対応
- ・手話通訳者が対応時に窓口端末を使用し、表出データを蓄積
- ・手話講習会受講者が窓口端末を使用し、表出内容を確認

**【SureTalk システム概要】**

手話ユーザーと音声ユーザーのコミュニケーションの円滑化を目的に、AIを使用し、手話動作を画像認識して日本語でテキスト出力するシステムです。詳しくは別紙をご参照ください。



(出典：SoftBank WEB サイト <https://www.suretalk.mb.softbank.jp/function/>)

**【暮らしに寄り添うデジタル福祉フェアへの出展】**

実証事業の一部として、見えにくい、聞きにくい、歩きづらいなど、様々な暮らしづらさがある人に便利な、情報技術を活用した製品を紹介するデジタル福祉フェアに出展します。

○実施場所 ロボテラス（藤沢市辻堂神台2丁目2-1）

○実施期間 2025年（令和7年）2月19日～24日 10時～17時

※主な展示製品については、別紙をご参照ください。

※詳細は、ロボテラスホームページをご確認ください（2月1日掲載予定）

\*この資料に関する問い合わせ先

（実証事業について）

藤沢市福祉部障がい者支援課

担当： 白井

内線： 3290

直通： (0466)50-3528

（デジタル福祉フェアについて）

藤沢市企画政策部デジタル推進室

担当： 倉本

内線： 8665

直通： (0466)50-8261



OUR SERVICE

# SureTalkができること

AIを使って手話と音声の間で会話をしたり、みんなの手話を登録して、AIに手話を学習させることができます。

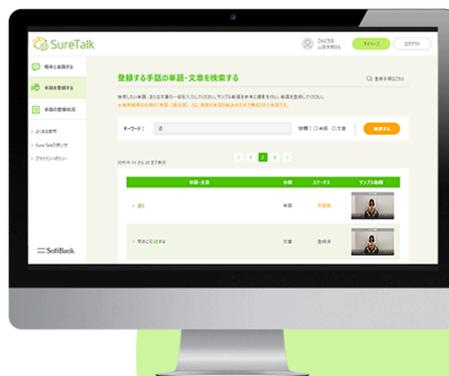


## いつでもどこでも手話と音声で会話ができます

インターネット環境があれば、自分のペースで、話したい相手と会話することができます。端末のカメラを通して、AIが身体動作を追跡し、手話の特徴を抽出することで、手話で話した内容をリアルタイムにテキストに変換します。

## AIがあなたの手話動作を学習し、認識精度を高めます

手話の動作は人によって違いがあります。この違いをAIに学習させると、手話認識精度の向上へとつながります。そのため、たくさんの方の手話動画データを収集することで会話がよりスムーズになります。



このシステムは、端末のカメラから手話ユーザーの手話の動きを読み取ってテキストに変換します。一方、端末のマイクからは音声ユーザーの音声聞き取ってテキストに変換し、コミュニケーションが行えます。

※会話機能は一部の自治体様にてサービス提供中です。



※使用可能な端末は順次拡大していきます。



現在は登録機能のみご利用頂けます。  
会話機能につきましては、一部の自治体様などの限られた場所をご利用いただいております。  
ご利用いただける対象は順次拡大してまいります。

SureTalkが目指す未来

技術について

ホーム > SureTalkができること



- > SureTalkが目指す未来
- > SureTalkができること
- > 技術について
- > コラム
- > よくあるご質問
- > お問い合わせ
- > お知らせ
- > 推奨利用環境
- > 会社情報



[利用規約](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#)



© SoftBank Corp. All Rights Reserved.

## 暮らしに寄り添うデジタル福祉フェア 展示製品（予定）

### ○あしらせ2（視覚障がい者用移動支援用具）

<https://www.ashirase.com/>

靴に取り付け、専用アプリで目的地を設定。足元の振動で目的地へ案内します。白杖や盲導犬と併用し、あしらせの振動でルートを確認。安全確認に集中し、安心して歩行することをサポートします。

視覚障がい者の移動をサポートするナビゲーションデバイス



### ○オーカムマイアイ2／オーカムリード（視覚障がい者用読書機）

小型カメラが捕らえた文章を耳元のスピーカーから音声で聞くことができる画期的な製品です。さらに、目の前の人の顔、お札、色、時間などの情報を音声で聞くことができます。小型・軽量で、お使いのメガネフレームに取り付けが可能です。



オーカムマイアイ2



オーカムリード

### ○ViXION01／ViXION01S（オートフォーカスアイウェア）

<https://vixon.jp/>

見ているものをセンサーで測定し、距離に応じてレンズの形状を瞬時に変化させ、眼のピント調節をサポート。近くも遠くも自在にピントを合わせられます。



○HOYA MW10HiKARI(暗所視支援眼鏡)

<https://vixion.jp/products/>

わずかな光を増幅させて、かつ自然な色彩で撮影できる低照度高感度小型カメラを独自開発してヘッドマウント内に設置。コンピューターで処理をして目の前のディスプレイ投影させることで、暗所でも、明るくカラーで再現する、暗所視支援デバイスです。



○SureTalk(ソフトバンク株式会社)

<https://www.suretalk.mb.softbank.jp/>

手話ユーザーと音声ユーザーのコミュニケーションをより円滑にするサービスです。手話と音声をリアルタイムでテキストに変換し、画面を通して会話ができます。



○WHILL Model C2(次世代型電動車椅子)

<https://whill.inc/jp/>

行きたい方へ直観的に操作できるコントローラーにより、片手で全て簡単に操作ができます。スピード調整、電源オンオフも片手でできます。手を放すと坂道でも自動でブレーキがかかります。



○ロボットアシストウォーカーRT.3(自動制御機能付き歩行器)

<https://www.rtworks.co.jp/index.html>

ロボット技術で、上り坂はアシスト、下り坂は適度に減速、傾斜路では片流れ防止、速度検知で自動ブレーキ等安心安全な歩行ができます。



○Net119 (聴覚又は音声・言語障がい者用119番通報システム)

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/keibou/net119.html>

聴覚又は音声・言語に障がいのある方のための新しいシステムです。スマートフォンや携帯電話のインターネット機能を利用して、“簡単な操作”で素早く119番通報して、消防車や救急車を呼ぶことができます。

NTTドコモ、KDDI、au、ソフトバンク、楽天の携帯電話やスマートフォンで利用可能です。



○Live119 (映像通報システム)

[https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/keibou/shirei\\_live119.html](https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/keibou/shirei_live119.html)

スマートフォンを利用して、火災や救急など現場のリアルタイムの映像を、消防の119番の指令室へ送信することができるシステムです。応急処置のアドバイスをするために、指令室から映像を送信することもできます。消防が必要と判断したときに、通報者の電話番号に対してショートメッセージ(SMS)を送り、通報現場の撮影をお願いすることがあります。

